

令和 5年度 会派調査研究報告書

(視察先1か所につき1枚)

会派名	公明党
出席者	中島美弥子
事業名	
事業区分	①研究研修 ②調査

1. 蕪崎市での課題と研修・調査の目的

<p>コロナ禍で進んだ生活様式の変容しデジタル化が進む中、議会デジタル化の必要性について 政策につよい議会をつくるために</p>
--

2. 実施概要

実施日時	2023年7月5日13:00~18:00 7月6日10:00~17:00
視察先	全国地方議会サミット2023
担当部局	ローカル・マニフェスト推進連盟 早稲田大学マニフェスト研究所
報告内容	<p>「変わる社会・デジタル・あたらしい民主主義～激変する時代に対応する社会基盤としての議会を実装する」をテーマに掲げ、専門家の講演、各地での実践報告、</p> <p>基調講演「激変する時代に対応する議会を実装せよ」 北川正恭早稲田大学名誉教授、元三重県知事</p> <p>特別講演「デジタルで変わる社会 地方と議会への期待」 河野太郎デジタル大臣</p> <p>セッション 1. 「デジタルで変わる自治体・政策」 1. 「オンラインとデジタルを活かす」 1. 「デジタルが拓くあたらしい民主主義」</p> <p>2日目</p> <p>「地方分権の20年とこれからの10年を展望する」 北川正恭早稲田大学名誉教授、片山善博大正大学教授 廣瀬克哉法政大学総長</p> <p>セッション 1. 「政策議会の一般質問」 1. 「自治体監査と議選監査委員を活かす」 1. 「政策につよい議会をつくる」</p>

感想（まとめ） ・ 市政に活かせること	<p>今回、初めて早稲田大学大隈講堂で開催の「全国地方議会サミット2023」に、2日間参加し全国の議員、自治体の方がオンラインも含め大勢参加されていました。コロナ禍で生活様式が変化、特にデジタルが進みました。激変する時代に対していかに取り組み、対応するののかとの問題に、専門職の大学教授の講演に加え、各地の議会からの実例紹介もあり、大変興味深く参加いたしました。河野太郎デジタル大臣からは、今後デジタル庁として、保育所入所のシステム化し、提出様式を全国統一や医療型デジタル化、市役所の書かない窓口サービスの推進など具体的な取り組みも伺いました。又、河村和徳東北大学大学院准教授からは「議会デジタル化の必要性、ChatGPTなど生成AIとどう向き合うか」の中で、議会と市民つながる一つとして必要である、開かれた議会で、オンラインでしか繋がれない人もいるとの考え一方、チャットGPTは学習するデータが正確性がないと誤情報になるため、安易に使えないとの指摘もありました。デジタル化の推進していく上では、課題もあると認識致しました。又デジタルを活かした先進的な取り組みをしている自治体の実例紹介は、どこも大変参考になりました。</p>
	<p>今後本市において、開かれた議会を目指し、議会報告会でデジタルを活用して、LIVE配信（ハイブリッド）でオンラインでの参加を可能にし、オンラインなら参加出来る人（介護、子育て等）もいると思います。直接参加出来なくても自分の意見が伝わる、また議会の活動をより広く市民に伝えることも必要であると考えます。デジタルを活用し、議会と市民の間のコミュニケーションが取れるよう、取り組む事も一案と考えます。</p>

※写真等がある場合は添付すること